

安曇野市政策部政策経営課 御中

安曇野市明科地域アウトドアミーティング運営支援業務

企画提案書

令和7年9月12日
信濃毎日新聞社

はじめに

■当社・信濃毎日新聞社について

- 所在：長野市南県町657
- 創刊：1873年（明治6年）7月5日
- 資本金：1億円
- 代表者：代表取締役社長 小坂壮太郎
- 社員数：440人 ※2025年9月
- 本提案における役割：全体統括

当社は1873（明治6）年の創刊から150年以上にわたって発行を続けてきました。また、これまでに培ったノウハウ・ネットワークの活用と長野県の地域性を融合した様々な取り組みを展開しています。

本来の情報発信機能と新しい事業の融合を図り、本事業に取組みます。



信州アウトドア研修
明日をひらく、その一歩。

当社ビジネス開発局では、人材育成研修事業「信州アウトドア研修」の企画・運営を行っております。信州の自然環境を生かした新規事業として2021年よりスタートいたしました。登山などの野外活動を通じてチームビルディングやリーダーシップの向上を目指します。座学とは異なる成果が期待できる研修として県内外の企業に提案し、2025年8月までに延べ86社484名に受講いただいております。

■連携企業・(株)信州アウトドアプロジェクトについて

- 所在：下水内郡栄村堺6032-1
- 設立：2018年2月20日
- 代表者：代表取締役 島崎晋亮
- 事業内容：野外教育事業
コミュニティビジネス事業
- 本提案における役割：プログラム監修・提供

小学校から大学までの教育機関をはじめ、企業やスポーツチームを対象とした野外教育を用いた研修等の企画・指導を行う。事務所を栄村に移転したことをきっかけに、里山をフィールドとした教育活動や、観光事業も手がける。代表は国内の野外指導者の育成や普及にも携わる。

上記、信州アウトドア研修の監修・ディレクションを行っております。

この他に、プログラムごと必要の応じて最適な地元事業者等と連携してコンテンツの提供をいたします。

現状認識と目指す取り組み

■明科地域の課題(基本構想より)

- ▼ 豊富な自然・歴史資源(川・山・廃線跡など)がある一方、導線や施設整備が整っていない
- ▼ 人口減少や高齢化により、ガイド・インストラクターや地域を支える人材の不足
- ▼ 観光市場での競合が非常に多い
- ▼ 地域に対する住民の満足度や定住意向が低い

■地域市民、関係者が求めるアウトドア拠点の役割(基本構想より)

- ①アウトドアだけでなくまちに還元できる、まちにつながること
- ②次世代につなげていく、子どもたちに明科を好きになってもらいたい
- ③来た人が楽しめるガイドやインストラクターがいる、魅力がある
- ④市民自身も動きを知り、明科を誇りに思ってもらえるように
- ⑤外から来る人も「ファン」になってもらい、環境を大切にしてもらい一緒に盛り上げていきたい

川から里山、空までまち全体をつなぎ、誰もが楽しめる拠点
子供や地域内外プレイヤーを巻き込んだ、人材の発掘・育成・連携の拠点

整備予定の「アウトドア拠点」がこの場所を通じて、明科のヒト・モノ・コトがつながり、
新しい人たちが集い繋がる拠点となることを目指す。

現状認識と目指す取り組み

■周辺自治体と比較した差異化のポイント

白馬村:山岳リゾート(登山・スキー・湖畔アクティビティ)

大町市:黒部ダム玄関口、溪谷・三湖など景勝地

松本市:上高地・美ヶ原と文化財(松本城)

安曇野市(明科):アルプスの眺望、田園景観、清流・湧水、歴史・文化のまちあるき資源

➡自然資源・文化資源がコンパクトなエリアに詰まっており、
「滞在型観光」や「多目的のリピーター観光」のポテンシャルが強み。

■事業の実施目的(仕様書より)

▼ 地域の賑わい創出

同地域が有する豊かな自然環境などの地域資源を活用し、市内外からの交流人口拡大と地域の魅力発信

▼ 公園空間の利活用法の模索

R10年度に龍門渚公園内に整備予定の「アウトドア拠点」活用に向けた実証的な取組

▼ 地域におけるアウトドア文化への関心と機運醸成

地域内における「ヒト・モノ・コト」が循環する拠点づくりの基盤構築

■本提案の目指す取り組み

龍門渚公園・あやめ公園を核にウォーターアクティビティ、里山体験、
キャンプ、歴史文化散策といった資源を組み合わせ
「交流」「巡り」「地域参加」を生み出す実証的取組とする。

提案

環境倫理プログラム「Leave No Trace」
を主題としたイベントの開催を提案いたします。



そして、安曇野市明科地域を
Leave No Traceの教育・体験・発信の拠点とすることで
「交流」「巡り」「地域参加」を生み出すことを目指します。



Leave no traceについて

■ Leave no traceとは

メインコピーは「**今残さないことで未来に残す**」

Leave No Trace（以下、LNT）とは観光資源や他の旅行者に配慮し、守るスキルや考える方を体験的に学ぶ環境倫理プログラムです。

もともとはバックカントリーで生まれた、環境（自然、地域）に与える（残す）ダメージを最小限にしてアウトドアを楽しむためのものですが、そのスキルは都市の公園、さらには家の庭に至るまで、全ての環境に応用することができます。

持続可能な観光に必須の考え方です

■ Leave no traceの哲学

「**使ってはいけない（DON 'T）**」から

「**インパクトを最小限にして使おう（LET' S）**」へ

LNTの考え方は、自然の中で「これをしてはいけない」という禁止のリストではありません。大切なのは「自然を楽しみながら、その影響を最小限にしていこう」という前向きな姿勢です。

科学的研究に基づいた根拠あるテクニックを学ぶことにより、一つ一つの行動の選択肢を増やす。そうした準備と工夫が、新しい楽しみを広げると同時に、環境や観光地を守ることにつながります。LNTは、環境・観光地にとって、また利用者個人にとっても、個々の小さな実践が重なり合って、大きなポジティブな循環を生み出します。

“より良い方法” を選ぶことが未来をつくる

Leave No Traceについて

■ LNT 7つの原則

全ての人が環境へのインパクトを最小限にするためのテクニックが、7つのが原則を基にしており、誰にでもわかりやすく、楽しく実践することができます。もともとはバックカントリーで生まれたものですが、ほとんどのアウトドアレクリエーションにも応用可能です。原生自然から、都市の公園、さらには家の庭に至るまで、全ての環境に応用することができます。

【原則1】 事前の計画と準備

適切な計画と準備は、環境へのダメージを最小限にし、安全で快適に旅行の目的を達成することを助けます。準備不足は、時には事故や、環境や文化財へのダメージにもつながります。

【原則2】 影響の少ない場所での活動

アウトドアで目的を達成するためには、自然の中を、土壌や水資源へのダメージを避けながら、移動しなければなりません。移動やキャンプが環境に与えるインパクトを理解することは、旅行の目的を達成するためにとても重要です。ダメージは、地表の植生や生物の群生が自然回復の限界を超えたときに起こります。その結果、土壌の裸地化やトレイルの侵食が起こり、快適なアウトドア活動ができなくなります。

【原則3】 ゴミの適切な処理

アウトドアユーザーが残すゴミは、間違いなく他のビジター、水質、野生動物に影響を与えています。

「持ち込んだら、持ち帰る」食べかすなどのゴミを残さない。衛生管理に大切な尿尿、排水、身体の洗浄などの自然に与えるダメージを最小限に。

【原則4】 見たものはそのままに

きれいな石、植物、貝殻、文化的な遺産を見つけたら、他のビジターともその発見の感動を分かち合しましょう。
テントサイトの改良を最小限にする／生きている木や植物を傷つけない／自然物や文化的遺産を残す

【原則5】 最小限のたき火の影響

料理や暖をとるために当たり前だったたき火。古くから日本の文化にも染み込んでいます。今でもキャンプにおける活動としてたき火を欠かさない人もいます。たき火の技術は、全てのキャンパーにとって欠くことできないスキルです。しかしながら、不適切にたき火をしてしまうと、自然に大きなダメージを与え、地表の外観を傷つけることに繋がります。

【原則6】 野生動物の尊重

野生動物は、距離をとって、彼らの自然な生き生きとした姿を楽しみましょう。不適切な距離は、野生動物が警戒したり、逃げたり、時には攻撃されることもあります。極端に暑かったり、寒かったりする環境で、野外動物の生態を乱すことは、大きなダメージを与えることがあります。動物に触れずに、近づきすぎずに、餌を与えたり、餌を採ったりしないでください。

【原則7】 他のビジターへの配慮

LNTのもう一つの重要な倫理は、他のビジターの体験の質を保つことです。LNT原則7は、誰もが平等に自然を楽しむことを保証します。多くの人が自然の音に耳を傾け、ありのままの自然を楽しむためにアウトドアに出かけます。過度の騒音、人混み、傷ついた自然は、人々のアウトドア体験の質を下げます。

事業のコンセプト

■「交流」「巡り」「地域参加」を生み出すためにLNTを主題とする理由

- ▼ アウトドア体験に「環境への思いやり」を組み込むことで、アウトドア文化への関心と機運だけでなく、**シビックプライドの醸成**が期待できる
- ▼ 市内外からの参加者に**明科地域への愛着を育む仕組み**となる
- ▼ 近年注目されるオーバーツーリズム問題への対応とも親和性が高い

■安曇野市・明科地域とLNTプログラムは相性が良い

理由① 四季を通じて学べる環境

四季折々のフィールドがコンパクトに揃っている。年間を通じて「LNTの実践」を繰り返し体験できることが大きな強み。そして、多彩なアクティビティを提供できる事業者が近隣を含めて多数存在する。

➡継続的に異なる環境で学ぶことで、**知識が応用力あるスキルへと育つ。**

理由② 五感に訴える総合的な体験で、記憶に残る学びを提供できる

学習内容を定着させるには「感情」と結びつけることが効果的。
明科での自然体験は「楽しい・驚き・感動」とリンクしやすく、単なる知識ではなく「忘れない学び」になる。

➡学びが思い出として心に刻まれ、**日常での行動変容につながる。**

理由③ 素晴らしい自然環境が現存し、まだ**オーバーツーリズム問題が出ていない**

オーバーツーリズムの影響が出た場合、自然や文化財の保護が最優先となります。
そういったエリアではアウトドアアクティビティは制限、禁止されます。

➡LNTを**魅力的なフィールドで実践できる。**

➡**影響を未然に防ぐ**ことができる。

事業のコンセプト

■「1回完結で楽しめる」&「複数回参加で深まる」プログラム設計

LNTを「繰り返し学ぶ」ことはステップアップの意味合いだけでなく、「角度を変えて学ぶ」ことで、「本質的理解（学びが深まる）」につながります。



明科地域の持つ多様な自然資源、文化資源と組み合わせることで、同じ原則やスキルを違う角度から照らし繰り返し学べる設計が可能。
体験者に「また来たい」「違う季節で試したい」と思わせる強みになります。



LNTを軸に据えることで、
明科地域は「遊びながら学び、心に残るアウトドア拠点」として差別化ができる。



そして、イベントを通じて明科地域をLNT発信の拠点として育てていきます

■LNTの学びは日常にも生きてきます

次世代へつなぐ姿勢・他者を尊重する・環境に配慮する姿勢は、職場・家庭・地域でも通用します。

イベント概要

■アウトドア体験×LNTプログラム 全4回実施

単発の参加でも楽しめ、複数回参加することで安曇野市・明科地域の理解が深まり、LNTの考え方・スキルがより深く身につくプログラム展開にいたします。

- 第1回 冬編 公園周辺の環境と明科の魅力を再発見
- 第2回 春編 安曇野の産業、明科の歴史に触れる
- 第3回 夏編 アウトドアアクティビティ全開 公園周辺を遊びつくす
- 第4回 秋編 明科の自然を守るために LNT実践プログラム

※それぞれの詳しい内容は後述いたします。

■参加者 人数、ターゲット

各回30名程度の参加者を募ります。

安曇野市内（特に明科地域周辺）の方、市外の方、お子様連れでもお一人からでも多くの方が明科地域の魅力に触れ、ファンになるプログラム設計をいたします。

■会場

龍門渚公園及びあやめ公園を主会場に、季節や学習内容に応じて、会場および明科地区周辺のフィールドを利用いたします。

イベント内容 冬編 「見つめる」

■公園周辺の環境と明科の魅力を再発見

LNTを学ぶ上で使用するフィールド周辺の理解は重要です。そこで、初回は龍門渚公園・あやめ公園周辺の散策し公園周辺への理解を深め、LNTがまちのなかでどのように活用できるかを実感いただくプログラムを実施いたします。



■実施時期

2025年12月～2026年1月頃

■スケジュール案 一泊二日

- 13:00 集合（龍門渚公園多目的広場）
アイスブレイク
LNT講座
周辺散策
コハクチョウ観察（御宝田）
- 17:00 宿泊（周辺ホテルなど）
- 翌朝 ホテル発（マイクロバス移動）
- 6:00 雲海ツアー（長峰山）
- 8:00 ホテル着・朝食
移動（龍門渚公園）
- 9:30 間伐材クラフト
- 11:30 まとめ・アンケート実施・解散

LNT講座

地域の自然・環境とその価値を理解し、LNTを身近なフィールドで考える基盤を作る。地域資源への気づきから「守りたい」という意識を芽生えさせ、愛着の入り口とする。

周辺散策

公園を利用するうえで、周辺の環境・住民への配慮は非常に重要です。周辺の散策では安曇野の特産である信州サーモンを生み出した水産試験場の見学など、地域への理解を深める。

コハクチョウ観察

散策では御宝殿遊水池にもよる。コハクチョウの飛来数が増える時期にコハクチョウやカモの観察を行い、豊かな野生動物も豊かな地域であることを知る。

長峰山雲海ツアー

雲海ツアーでの感動体験と結びつき学びが記憶に残る。雲海を見るのが難しい時期にはなりますが、常念岳を前に、学びの舞台となる明科地域を一望できる。

間伐材クラフト

明科産のケヤキ、市産のアカマツ、カラマツなどを活用。市産材を取り巻く状況も伝えPRに。形に残るものがあることで、手元に学びが残る。



イベント内容 春編 「理解する」

■安曇野の産業、明科の歴史に触れる

地域の産業、歴史に触れることで地域への愛情が深まります。安曇野といえばわさびと水を思い浮かべる方も多いのでは。わさび収穫で産業に触れる体験と豊かな自然と歴史に触れる篠ノ井線廃線敷トレッキングを組み合わせ安曇野市・明科地域への理解を深めます。廃線敷トレッキングではLNTを実践いただきます。

■実施時期

2026年3月

■スケジュール案 日帰り

- 9:00 集合（龍門湊公園多目的広場）
アイスブレイク
LNT講座
- 10:00 マイクロバス移動
わさび収穫体験
- 11:30 昼食
マイクロバス移動
- 13:00 第二白坂トンネル発
篠ノ井線廃線敷トレッキング
- 15:30 龍門湊公園着
- 16:00 まとめ・アンケート実施・解散

LNT講座

産業や歴史と自然がつながっていることをLNTの視点から体験的に理解する。地域の成り立ちと暮らしの知恵を知り、明科を誇れる共感や関心を深める。

わさび収穫体験

安曇野といえばわさび。安曇野でしか体験できないわさびの収穫体験を行い、安曇野の産業に触れます。

篠ノ井線廃線敷トレッキング

ただ歩くだけでなく、わさびの発展と明科地域に残る遺構の関係を学びます。市を代表する産業と結びつくことで篠ノ井線廃線敷の魅力・認知向上を図ります。

イベント内容 夏編 「満喫する」

■アウトドアアクティビティ全開 公園周辺を遊びつくす

花菖蒲が丁度見ごろの時期に龍門渚公園・あやめ公園でアウトドアアクティビティを満喫していただきます。
都市公園だからこそLNTの周りの環境・人への配慮、痕跡を残さないといった考え方と行動が大切になります。
参加者が今後の両公園の利用の仕方、そして楽しみ方のお手本となるような2日間にいたします。

■実施時期

2026年6～7月

■スケジュール案 一泊二日

- | | |
|-------|--|
| 15:00 | 集合（龍門渚公園多目的広場）
アイスブレイク
LNT講座
テント設営（LNT） |
| 16:30 | BBQワークショップ
夕食 |
| 19:00 | 焚火（LNT） |
| 20:30 | 終了 |
| 翌朝 | 起床・朝食 |
| 8:00 | テント片付け（LNT） |
| 9:00 | ラフティング体験・リバークリーン |
| 11:30 | まとめ・アンケート実施・解散 |

LNT講座

アウトドアを楽しむ中で、痕跡を最小限にする行動や他者・自然への配慮を実践する。遊びながらLNTを自然に身につけ、LNTの視点を取り入れた公園の楽しみ方について考える。

BBQワークショップ

一般的なコンロや食材でワンランク上のBBQ体験を目指すワークショップを開催。**安曇野放牧豚、信州サーモン、わさび**といった地元食材を活用したメニュー開発・提供も行います。

焚火

LNTの7原則に焚火だけの項目があるように、焚火は環境に大きな痕跡（ダメージ）を残す可能性のある活動です。とはいえ火は調理に必須なだけでなく、リラックス効果などたくさんの恩恵ももたらします。アウトドアに欠かせない火にしっかりと向き合い楽しい時間を過ごせるよう設計します。

ラフティング

水郷明科での夏に必須のウォーターアクティビティ。参加者の習熟速度次第で川の中だけでなく、川周辺の環境に目を向けるため、リバークリーン活動も行います。

イベント内容 秋編 「実践する」

■明科の自然・環境を守るために LNT実践プログラム

最終回は自然の中で、公園でLNTを実践いただきます。初めて参加される方は学んだLNTの考え方とスキルを体験いただき、複数回参加されている方はLNTへの理解を深め自身で考えて実践いただく場に。知識とスキルを最大限発揮できるプログラムを提供いたします。

■実施時期

2026年10～11月

■スケジュール案 日帰り

- 9:00 集合（龍門渚公園多目的広場）
アイスブレイク
LNT講座
- 10:00 東山トレッキング（LNT）
- 14:00 ゴール（龍門渚公園）・リフレッシュ
- 14:30 ご褒美スイーツクッキング（LNT）
- 17:00 まとめ・アンケート実施・解散

LNT講座

LNTの原則を多様な場面で実際に使いこなし、自ら考えて行動する力を養う。学んだことを日常や他地域でも活かし、地域の未来を守る主体的な担い手となる。

東山トレッキング

長峰山展望台を目指します。初めて参加される方も複数回参加されている方も明科の豊かな自然と北アルプスを一望できる雄大な景色とが結びつきLNTの学びが深く記憶に残ります。自然を歩くトレッキングでは多くの場面で**LNTの考え方**が求められます。

ご褒美スイーツクッキング

安曇野市で採れた果物を使いスイーツ作りを行います。メニューは地元のカフェ・飲食店等との協力を考えています。疲れた体に染み渡る自分たちで作ったスイーツの味と結びつきLNTの学びが深く根付きます。野外での調理は多くの行程で**LNTのスキル**が求められます。



野生動物への影響
野生動物に危害をくわえたり、悪影響を与えたりしない行動



植物への影響
自然破壊を止め、植林や保護などの活動



水資源への影響
水資源の保全是、全ての生命活動に欠かせません



文化的・歴史的遺産への影響
遺跡の破壊や盗難などの行為は避け、見るだけにとどめる。



地表への影響
地表にダメージを与えない
焚火の仕方や道具の活用



人間社会への影響
渋滞や過密による悪影響をなくす取り組み

その他の業務について

■会場設営及び撤収

各種プログラムにて使用する教材・資材・道具や食事における食器類等は当社および信州アウトドアプロジェクトにて手配・設営・撤収をいたします。一部協力事業者と行うプログラムでは協力して行います。

■イベント参加者へのキャンプ用品貸与

参加者へのキャンプ用品の貸与については、信州アウトドアプロジェクトより、参加者の一部負担にて対応・実施いたします。

■イベント参加者の宿泊費等参加費の一部徴収

連携事業者とのプログラム参加費や食費、食材費の一部を参加者より徴収いたします。
※本事業における旅行業法の扱いにおいて関係各所に確認を実施しますが、当社による徴収が困難な場合は、連携事業者で旅行業登録者の信毎ふれあいネットによる徴収等を実施します。

■打合せ記録簿の作成・提出

当社にて打合せ記録簿の作成・提出を行います。

■業務報告書の作成

業務報告書については、アウトドアミーティング及びアンケート集計業務終了後に速やかに当社で制作して提出いたします。

その他の業務について

■参加者へのアンケート調査の実施及び調査結果報告書の作成

●アンケート実施について

回収率・回答の質を維持するためプログラムの一つとして、タイムスケジュールに組み込んで実施します。

●アンケートの実施フロー

回答者のスムーズな実施や集計を考慮し、WEBフォーム形式で実施します。

●アンケート設問・分析について

参加者の負担を考慮し、5～10問程度で選択方式と記述方式します。

参加者アンケート項目（案）

- このワークショップを友達に勧めたいと思いますか。
【是非勧めたい・どちらかと言えば勧めたい・・・・・・・・】
- その理由を教えてください。
- ワークショップからどのようなことを学びましたか。
- それは今後どのような場面で活かそうですか。
- 今後も明科地区のこのようなイベントに参加したいと思いますか。
【是非参加したい・どちらかと言えば参加したい・どちらでもない・・・・・・・・】

今後の展開の方向性、今後の事業に向けた改善点などを意識して設問設定を行います。詳細は委託者と協議の上、決定いたします。
回答者が答えやすく、問題点を抽出しやすい設問設定に勤めます。

●参加者へのアンケート調査結果報告について

アンケート調査結果報告については、アンケート実施後に速やかに集計し、レポートを作成して提出いたします。
イベント毎に分析を行い次の企画への反映、拠点整備・活用に向けた提案をいたします。

リスク管理・安全対策

■グループ単位でインストラクターが安全を管理

1グループに1名インストラクターを配置し安全管理を行います。山でのトレッキングなどより細かなケアが必要な場合は少人数のグループに分け活動を行います。

■使用するすべてのフィールドを下見

使用するフィールドは全て当社と信州アウトドアプロジェクトで下見を行います。実施前に下見結果の報告をいたします。

■事前に参加者の健康状態等の確認を行いサポート

WEBフォーム上で受講者の健康状態やアレルギー（食物含む）の有無の確認を行います。事前にインストラクターに共有し活動のサポートをいたします。長時間体を動かすプログラムを行う場合は運動経験なども確認いたします。

The image shows a portion of a digital questionnaire. At the top, it says '※ 必須' (Mandatory) and '運動習慣／健康状態について' (About exercise habits/health status). Below this, it asks for daily exercise frequency with examples like '3-5km jogging 3 times a week' or 'mountain climbing'. Question 6 asks for daily exercise frequency. Question 7 asks about outdoor experience and safety management, with a note about allergies. Question 8 asks about food allergies. There are input fields and radio buttons for 'あり' (Yes) and 'なし' (No).

■個人情報の取り扱いについて

当社は、仕様書別記の「個人情報の取り扱いに関わる特記事項」に基づき、「個人情報の保護に関する法律」、「電気通信事業法」、および関連法令を遵守し、厳正な取り扱い、運用に努めます。

■雨天時対応

雨天時の場合もプログラムは実施いたします。荒天時（1時間雨量4mm以上）や荒天が事前に予想される場合は、協議のうえ、プログラムを一部変更、または中止いたします。

類似業務の実績

■令和6年 SILK OKAYAガストロノミーツアー

令和6年度観光振興事業費補助金
地域一体型ガストロノミーツーリズム推進事業

明治から昭和初期にかけて生糸の輸出を通して日本の近代化を支えた岡谷市の岡谷蚕糸博物館(宮坂製糸所併設)と諏訪湖を舞台に、外国人観光客15名が参加し岡谷のシルクの歴史と食文化を五感で体験してもらうツアーを実施。

- ① 地域の伝統食であるカイコ(シルク)や鹿肉ジビエを使った美食メニュー・土産品の開発
- ② 食文化を伝えるプロモーション
- ③ 外国人向けモデルツアーを開催し、カイコの美食メニュー、ジビエのバーベキューという非日常的な食体験提供

これらを通じて、岡谷のシルクと食文化を軸とした観光消費額増を目指した。

【参考】 <https://coconmirai.jp/news/211/>



2024.11.17(日) SILK OKAYA ガストロノミーツアー 外国人参加者アンケート結果

外国人参加者15名

外国人参加者の国籍・年代

- アメリカ5名(30代男5名)
- 中国2名(30代男・30代女 ※カップル)
- オーストラリア2名(40代男・40代女 ※夫婦)
- ベトナム2名(20代男・20代女 ※カップル)
- ニュージーランド1名(30代男)
- インドネシア1名(20代男)
- インド1名(20代男)
- 本人希望により国籍不詳1名(50代男)



当日は信濃毎日新聞社3名、信毎観光1名、岡谷蚕糸博物館4名、株式会社宮坂製糸所1名、岡谷市観光協会1名、岡谷市国際交流センター1名、信州BBQ協会3名、通訳1名、株式会社日本広告1名、カメラマン2名が参加。

【Q4】 鹿肉などを使ったバーベキュー料理全般の満足度

不満 ☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☒5 ☐満足

今回のバーベキューで好きなメニュー、印象に残ったメニューは？

回答抜粋

- 最後の牛肉が美味しかった。もっと鹿肉を試したかった。鹿ソーセージが美味しかったが鹿肉風味は少なく、スライスのほうがジビエらしさを感じた。
- スライダー、一口サイズのバーガーが美味い、最後のステーキコースが素晴らしい
- 鹿肉ソーセージ、チキン、野菜、パイナップルが素晴らしい
- やはりサーロインステーキが一番印象に残った。
- 鹿ステーキ。鹿のお肉は今回初めて食べました。思ったよりジューシーでおいしく感じました。
- キノコが一番おいしかった
- ステーキ、鹿ソーセージ、チャウダーとパイナップルの組み合わせが最高
- サーロインステーキの食べ比べが素晴らしい。タレが美味しく、ブルーベリーソースが特に良かった。
- 全てが素晴らしい。口の中がとても幸せでした
- サーロインステーキ(わさび添え)や鳥肉のフィンガーstripp
- いろいろな種類の肉や野菜のバランスが非常に良かった。特にキノコとスープが美味しく、BBQのお肉も素晴らしい。
- 鹿ソーセージ
- わさびとブルーベリーソースを添えた鹿肉のローストはとても美味しかった！鹿肉の食感が印象的だった。
- 最初のスモークチキンがとても美味しく、ポークサンドウィッチがすごくよかった。バーベキューソースを使ったポークサンドウィッチも検討してみたいかも。

類似業務の実績

■令和5年 信州アドベンチャー・エクスペリエンス

(一社)信州とうみ観光協会への企画協力

信州アウトドア研修のプログラムを軸に、地域の観光資源等を活用し、リフレクション(内省)やマインドフルネスの効果を高めた取り組み。

ワイン用ぶどうの畑での農作業体験や生産者、住民の交流といったプログラムを組み込んだ企画を実施。首都圏を中心に受講者が参加。

受講者満足度8.7(10点満点中)

受講者の声より

- ・人生で一番刺激を受けた研修(輸送機器メーカー人財戦略部担当者)
- ・非常に質が高く、時間密度の濃いプログラム(米テック企業日本法人部長)

【参考】 <https://outdoor.shinmai.co.jp/adventure/>



■令和5年 南信州日本一コンテンツ普及・開発プロジェクト事業

連携企業(信州アウトドアプロジェクト)の類似業務の実績

■令和6年 苗場山麓ジオパーク Leave No Trace ワークショップ

苗場山麓ジオパーク振興協議会(栄村・新潟県津南町)からの委託
一般向け／子供向けLNTワークショップの提供

日本有数の豪雪地帯が育んだ繊細な生態系や、火山活動で形成された貴重な地質、そして縄文時代から続く歴史文化を持つ苗場山麓ジオパーク。利用者がこの地域の価値を理解し、独自の価値を未来へ継承するため、「責任ある観光」の実現を目的にLNTワークショップを実施いたしました。

令和6年5月に一般向け、11月に子供向けと2度実施。

【参考】 https://naeba-geo.org/kouhou_70



LNT (Leave No Trace) ワークショップ子ども向け編を開催しました

11月30日(土)、さかえ俱樂部スキー場にて今年度2回目となるワークショップを開催しました。5月に大人(ジオガイド)向けを行っていますが、今回は子ども向けに「これだけは知って(覚えて)おいてほしい」という7原則の部分や、今後体験するであろう「たき火の仕方」を主としたワークショップになりました。

当日は雨天のため屋内中心の内容になってしまいましたが、タープの下で実際にたき火をして体感したり、たき火で焼芋を楽しんだり子どもだけでなく大人も楽しみながら学べる講座になったと思います。

今年度2回のワークショップを開催しましたが、ジオパークの活動や事業を行う上で意識していきたい考え方や取り組みでもありますので、参加された方々にはこれからの生活の中でぜひ意識して実践いただければと思っています。



たき火の様子

スケジュール

スムーズで余裕あるスケジュール(案)での業務遂行を実施して参ります。
参加者に対しては募集期間や事前の情報提供等、ゆとりある期間を設定し、負担軽減を意識して参ります。

	令和7年度							令和8年度												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業実施計画等 詳細相談																				
プログラム内容 策定・構築																				
協力事業者、資材等の 調整・手配																				
参加者募集 告知・受付・参加者対応																				
イベント実施																				
アンケート実施 集計・レポート作成																				
ガイド資料 制作・納品																				
打合せ記録簿 作成・提出																				
業務報告書 作成・提出																				
事業に関する 関係者打ち合わせ																				

キャッチコピーは

「感動が行動に変わる場所、明科」